

デリバティブ取引

デリバティブ取引関係（平成19年9月中間期）

1.取引の内容	当行は、金利関連では、金利スワップ取引・金利キャップ取引・金利スワップション取引、通貨関連では、通貨スワップ取引・先物外国為替取引・通貨オプション取引、商品関連では、商品スワップ取引を利用しております。
2.取引に対する取組方針	当行は、お客さまの金利や為替等に係るリスクヘッジニーズに対応するため、また、当行自身の市場リスクを適切に管理するため、デリバティブ取引を利用しております。取引にあたっては、市場リスクを最小限に抑えることを基本方針にしております。
3.取引の利用目的	当行は、金利スワップ取引・金利キャップ取引・金利スワップション取引につきましては、金利変動リスクをヘッジする目的で利用しております。 通貨スワップ取引・先物外国為替取引・通貨オプション取引につきましては、為替変動リスクをヘッジする目的で利用しております。 商品スワップ取引につきましては、商品価格の変動リスクをヘッジする目的で利用しております。
4.取引に係るリスクの内容	デリバティブ取引は、市場リスク及び信用リスク等を有しています。 市場リスクとは、金利・為替相場等の市場要因が不利な方向に変動することにより市場価値が値下がりするリスクをいい、信用リスクとは、取引の相手方の倒産等により当初の契約どおりに取引を履行できなくなるリスクをいいます。 市場リスクについては、対顧客取引にあわせてカバー取引を行い、リスクを最小限に抑えています。 信用リスクについては、取引相手先毎に限度額を設定し、リスクの集中を回避しています。
5.取引に係るリスク管理体制	取引の実行及び管理は市場金融部が行っており、リスク量を日次で担当役員とリスク管理の統括部である総合企画部に報告する体制をとり、リスク管理については万全を期しております。
6.定量的情報の補足説明	契約額等は、この金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスク量または信用リスク量を示すものではありません。

デリバティブ取引情報

1.金利関連取引

(単位:百万円)

区分	種類	平成18年9月中間期(平成18年9月30日)				平成19年9月中間期(平成19年9月30日)			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益	契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
取引所 店頭	金利先物	-	-	-	-	-	-	-	-
	金利オプション	-	-	-	-	-	-	-	-
	金利先渡契約	-	-	-	-	-	-	-	-
	金利スワップ								
	受取固定・支払変動	120,857	116,659	1,315	1,315	153,845	152,170	1,128	1,128
	受取変動・支払固定	121,054	115,764	1,832	1,832	154,427	151,677	1,712	1,712
	受取変動・支払変動	2,300	2,300	57	57	2,300	2,300	49	49
	金利オプション	6,070	5,620	41	41	5,620	5,400	99	99
	買建	5,200	5,100	112	112	5,100	5,100	48	48
	その他	76,556	76,556	1,774	1,774	103,109	103,009	2,095	2,095
	売建	76,544	76,544	136	136	102,814	102,714	135	135
	買建								
	合計			2,524	2,524			2,913	2,913

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。

なお、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号)等に基づき、ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

2.通貨関連取引

区分	種類	平成18年9月中間期(平成18年9月30日)				平成19年9月中間期(平成19年9月30日)			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益	契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
取引所 店頭	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-
	通貨スワップ	41,209	39,882	273	273	64,308	62,145	28	28
	為替予約								
	売建	213	-	4	4	604	-	8	8
	買建	7,484	-	60	60	13,248	-	66	66
	通貨オプション								
	売建	1,285	-	2	2	380	-	0	0
	買建	1,285	-	1	1	380	-	0	0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			217	217			104	104

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。

なお、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号)等に基づき、ヘッジ会計を適用している通貨スワップ取引等については、上記記載から除いております。

3.株式関連取引——平成18年9月中間期、平成19年9月中間期とも該当ありません。

4.債券関連取引——平成18年9月中間期、平成19年9月中間期とも該当ありません。

5. 商品関連取引

(単位:百万円)

区分	種類	平成18年9月中間期(平成18年9月30日)				平成19年9月中間期(平成19年9月30日)			
		契約額等	契約額等のうち 1年超のもの	時価	評価損益	契約額等	契約額等のうち 1年超のもの	時価	評価損益
取引所	商品先物	売建	-	-	-	-	-	-	-
	買建	-	-	-	-	-	-	-	-
	商品スワップ								
店頭	商品先渡	売建	-	-	-	-	-	-	-
	買建	-	-	-	-	-	-	-	-
	商品スワップ								
	受取固定・支払変動		287	287	16	16	388	388	12
	受取変動・支払固定		268	268	1	1	370	370	29
	商品オプション	売建	-	-	-	-	-	-	-
	買建	-	-	-	-	-	-	-	-
合計					17	17			17

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
 なお、ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。
 2.商品は石油に係るものであります。

6. クレジットデリバティブ取引 — 平成18年9月中間期、平成19年9月中間期とも該当ありません。

オフバランス取引

オフバランス取引情報

1. 金融派生商品及び先物外国為替取引

(単位:百万円)

種類	契約金額・想定元本額		与信相当額		内容
	平成18年9月中間期 (平成18年9月30日)	平成19年9月中間期 (平成19年9月30日)	平成18年9月中間期 (平成18年9月30日)	平成19年9月中間期 (平成19年9月30日)	
金利及び通貨スワップ	325,251	434,892	8,172	10,648	将来の一定期間にわたって、予め決められた金融指標を基準に、キャッシュ・フロー(元本、金利等)を交換する取引
先物外国為替取引	7,404	13,012	132	212	将来の受渡日に、約定為替相場で異種通貨の交換を行うことを約束する取引
金利及び通貨オプション	6,485	5,480	228	121	将来の特定期日または特定期間中に、予め定められた利回りあるいは価格で、金利や通貨を購入または売却する権利を売買する取引
金利スワップション	76,548	102,814	963	1,100	将来のある時点において、一定期間にわたって、予め決められた金融指標を基準に、金利を交換する権利を売買する取引
商品スワップ	555	758	85	130	将来の一定期間にわたって、予め決められた商品指標を基準に、キャッシュ・フローを交換する取引
合計	416,245	556,957	9,582	12,213	

(注) 1.上記計数は自己資本比率(国内基準)に基づいております。与信相当額(取引相手方が契約不履行に陥った場合に被る可能性のある損失額)の算出に当たっては、カレント・エクスポージャー方式を採用しております。
 2.なお、自己資本比率の対象となっていない取引所取引、原契約期間が14日以内の外国為替関連取引等の契約金額・想定元本額は次のとおりです。

(単位:百万円)

種類	契約金額・想定元本額	
	平成18年9月中間期 (平成18年9月30日)	平成19年9月中間期 (平成19年9月30日)
金利及び通貨スワップ	-	-
先物外国為替取引	386	958
金利及び通貨オプション	-	-
その他の金融派生商品	-	-
合計	386	958

2. 与信関連取引

(単位:百万円)

種類	契約金額		内容
	平成18年9月中間期 (平成18年9月30日)	平成19年9月中間期 (平成19年9月30日)	
コミットメント	230,700	235,141	貸越契約の枠空き等
保証取引	10,431	10,191	支払承諾等
その他	-	-	-
合計	241,131	245,333	